

京都・星・明治3薬科大連携



京都薬科大(京都市山科区)と、星薬科大(東京都品川区)、明治薬科大(同清瀬市)は17日、超高齢化社会の医療課題に取り組む薬剤師の養成に向け、連携プロジェクトを立ち上げたと発表した。

少子化による医療の担い手不足や、人口の高齢化に伴うさまざまな課題に共に対処しようと京都薬科大が呼び掛け、2大学が応じた。薬科大

薬剤師養成へ協定

による連携は全国的に珍しいという。プロジェクトでは、教育プログラムなどの共同開発▽現役の薬剤師向けの教育▽共同研究や人材交流の促進―などに取り組む。

3大学の学長がこの日、京都薬科大で包括協定書に署名した。京都薬科大の後藤直正学長は「医師や看護師らに治療方針などを提言できる人材を育てたい。新しい薬学教育だけでなく、日本の大学教育のモデルを示したい」と意気込みを語った。(芦田恭彦)